

未だに残されているJR革マル問題を訴える 「第4回永田町行動」を展開!

イーストユニオンは、新年度に入り早々4月3日、適時実施している永田町・国会図書館前でのチラシ配布行動を展開した。チラシの内容は、警察庁「治安の回顧と展望(平成28年版)」を引用し、JR総連・東労組の革マル派浸透問題に焦点を当て、国民の足として広く愛され、多くの市民にご利用いただいているJR東日本の暗部について警鐘を鳴らし、JR発足30年を経た今でも過激派革マル派浸透問題が解決されていない事を広くアピールしている。基幹産業である鉄道の維持・発展に向けた多くの理解と協力を求めた。



用意したチラシ100枚以上を通行人に手渡し、JR連合「ジェイアール・イーストユニオン」をアピールしながら、「JRに過激派はいらない!」と強く訴えた。

警察庁「治安の回顧と展望(平成28年版)」

「革マル派が相当浸透している!」JR総連・JR東労組について言及!!



3 過激派
3 社会的影響力拡大を企図する過激派
市民層や官公労、基幹産業労組への浸透を図る
革マル派は、組織建設を優先させる方針の下、政府の施策に反対する市民団体のほか、自治労や日教組などの官公労、JR総連、JP労組などの基幹産業労組への働き掛けを通じて、市民層や組合員の取り込みを図っている。年初から「憲法改憲阻止」をスローガンに掲げて「労働者学生連帯行動」(1日)<公安調査庁 内外情勢の回顧と展望(H29年1月発行)>
一方、革マル派が相当浸透しているとみられるJR総連及びJR東労組は、JR東労組の組合員らによる組合脱退及び退職強要事件について、裁判の終結後も、同事件を「えん罪事件」、「組織破壊攻撃」と主張しています。 <警察庁 焦点286号(H29年3月発行)>

JR東労組への革マル派浸透問題は これまでも国会で何度も取り上げられています

私たちはお客様、国民の皆様から信頼され、愛される「JR東日本」さらに、社員の皆様から頼られる労働組合を創造して参ります!!